

会 議 録		令和 4 年 9 月 22 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府木津警察署協議会（令和 4 年度第 2 回）		
開催日	令和 4 年 9 月 21 日（水曜日）		
時 間	午後 4 時から午後 5 時 30 分までの間（90 分）		
場 所	京都府木津警察署 講堂		
出席者	奥会長、光橋副会長、小林委員、柴田委員、森本委員、岸田委員 浦本委員、矢島委員、有馬委員、宮本委員、岩木委員 計 11 人		
	署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通総務係長、警備課長、広聴・相談係長 計 9 人		
諮 問 事 項	管内 1 1 0 番受理状況と初動対応状況について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 説明 (1) 管内 1 1 0 番受理状況と初動対応状況について～地域課長 (2) 警察装備品説明～地域管理係長		
	4 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 管内 1 1 0 番受理状況と初動対応状況について 【委員】 説明を聞き、限られた人員で広大な地域と人口をカバーされていることに感銘を受けた。住民は警察の内情はわからないため、何かあれば連絡をする形である。京都府下も同様であるが木津署の 1 1 0 番の受理件数の無効件数をどれだけ減らすかが緊急出動の削減にもつながる大事なことである。 私が感じた第一点目は、「1 1 0 番の日」の広報活動は非常に有効であると思う。ただ、どれだけ浸透、啓発ができていないかは不明であり、今後も啓発してほしい。我が家では、自治体の回覧板等で 1 1 0 番通報要領を見つけ、固定電話の横に貼り付けている。 1 1 0 番通報するような事件や事故が起こった時は、パニックにな		

会 議
内 容

り上手に伝えることができないことから、回覧板などで110番通報要領を周知すればよいと思う。また、バスの車内における広報も有効であるとする。

第二点目は、紹介があった「ポリストリップルアイ」は、デジタル化の現在、有効だと感じた。機能について、例えば、煽り運転などの動画や画像を通報者が京都府警察本部に送信し、その画像が現場警察官に送信されるのか疑問に思った。また、地域警察官全員に配備されているが、機器使用面で工夫されているのか知りたい。先日の新聞記事で、全国で10月から「110番映像通知システム」が導入されると報道された。これは通報者が撮影した動画や画像を110番システムに送信することができるというシステムであり、動画や画像を共有して、現場警察官がすぐ事案対応できるものである。この記事と「ポリストリップルアイ」が関連あるのか教示願いたい。

【警察】先ほど、「ポリストリップルアイ」で画像が送信できると説明したが、今後は、110番通報者自身が通信指令課に画像を送れるようになる。これまでは、警察官が現場に臨場し、通報者とドッキングした警察官が画像を確認し、その確認した画像を「ポリストリップルアイ」で撮影して通信指令課などに送信していた。これからは、110番通報者自身が、直接、画像を送信できるようになる。

通信指令課は、送信された画像を「ポリストリップルアイ」を使って警察官に送信することができるようになり、画像送信までのタイムラグが少なくなる。

電話機の横に貼ることができる110番通報要領については、今後の広報活動の参考にさせていただく。

【警察】110番通報の要領に不安を感じておられるようであるが、110番通報を受けた警察官が「事件ですか。事故ですか」と確認するため、そこで、「事件です」と伝えていただいたらよい。警察官から「まず落ち着いてください」との声掛けから順次、必要事項を聴取していくことから、緊張せず、緊急時は110番通報いただきたい。

一方で、110番無効件数を減らすという話であるが、委員の皆様の中で、110番あるいは119番通報をしたことがある方はおられるか。

110番すべきかどうか悩む方もおられると思うが、中には救急車はタクシー代わりくらいに思う方や、お酒に酔った方が「送っていけ」と言われる場合もある。110番無効件数を減らすためには、このような一般常識からかけ離れた110番を減らすことだと思われるがなかなか減らないのが現状である。

会 議
内 容

ちなみに急訴事案が110番通報で、急訴でない警察安全相談は、「#9110」という相談窓口に繋がる番号があるので、それらを上手に使い分けていただきたいと思います。いざという時は、迷わず110番通報をしていただく必要があり、間違っただけではいけないと過度に思っただけで必要はない。例えば、振り込め詐欺を例にすると、ご高齢の方が来店した場合、振り込め詐欺の疑いが少しでもあれば、金融機関の方に110番通報を依頼しているが、万が一、ご高齢の方から認知症扱いするのかとお叱りをいただいたとしても、そのお叱りは警察が承ると各支店長にも伝えている。無効件数を減らすためにということで、本来すべき110番通報を躊躇するというような誤解がないよう補足させていただく。

【委員】令和3年度の110番受理件数が木津署管内は4,455件、110番無効件数は減らすべきだと思うが、京都府下で18%とあり、現在、増減はどうなっているのか。以前、大阪府下に居住し、自治会の会議である方が公園で少年がたむろしているのを見つけた場合、すぐ110番すると話していた。このような場合、有効件数に入るのか。

【警察】今、無効件数の統計データがなく、経験則での回答となるが、増減はほとんどないという認識である。深夜に少年がたむろして喫煙しているという事案であれば、警察官が現場急行する必要があるため、110番通報していただきたい。これは有効件数となるが、単なるいたずら電話や相談など、至急に警察官を派遣する一見急訴でない事案でも警察官は臨場するため、緊急性がなければ110番通報は遠慮いただきたい。

【委員】警察署協議会に出席する前、何人かに110番通報をしたことがあるか聞いたが、山中で自殺をした人を発見して110番通報した人が、犯人かのように、何人もの警察官から入れ替わり立ち替わり事情聴取されたと聞いた。このようなことが本当にあるのか。

【警察】これは現場の警察官の取扱いに問題がある。当然、事件の目撃者の方から状況を確認する必要があるが、現場での警察官同士の情報共有がされず、何人もの警察官が同じことを目撃者に聞いてしまった状況があったのではないかと思われる。我々もこのようなことがないよう、無線等により情報共有している。

【警察】これは現場の警察官の資質にもよる。警察署協議会ができた経緯について、昨年、説明させていただいたが、警察に協力していただく方に不快な思いをさせないように、各委員の皆様からご意見をいただき、それを様々な警察活動に反映させていこうというものである。昔は横柄な態度の警察官がいたが、今はそのような警察官はほとんどいない。

会 議
内 容

そのような警察官がいれば、指導する必要がある。常に、府民のために警察官がいると考えており、例えば、目撃者調書を作成する必要がある場合、その必要性を説明し、時間の調整等行い、協力いただいている。万が一、警察の対応に不愉快な思いをされた際は、苦情を申し出ていただければ、その警察官に指導するなどの対応を行っている。警察が変わるためにも、警察署協議会委員の皆様からご意見を頂戴することが、警察署協議会の本来の大きな目的である。

【委員】情報として、一点、お話をさせていただきたい。110番通報とは直接関係ないと思うが、最近、野生動物の被害が多い。山城町の山間では、きじ、狸や猿の群れが出てきている。以前、和東町でも何十匹の猿の群れが出てきたと聞いたが、現在、山城町でも同じような状況である。現在、行政の方で墓地に監視カメラを設置して調査している。

【委員】個人的な事であるが、今夏、隣家で夜中に騒いでおり、近隣は高齢者が多く、早く就寝しており迷惑したことがあった。110番通報するかどうかためらい、意を決して主人が隣家に静かにするよう注意しに行った。この隣家については他にも動物が脱走するトラブルがあり、私の留守中に警察官が来られたことがあった。後日、警察相談に伺い、警察官からそのような場合は110番通報すればよいとアドバイスをいただいたが、110番通報すれば返しをされるのではないかという恐怖感を抱いたことがあった。

【警察】警察では、110番通報していただいた方が誰なのか関係者に特定されないようにして現場に警察官を派遣している。御心配いただくことなく110番通報していただければよい。直接注意を行うと関係者同士でトラブルとなることもあるため、それを防止するためにも、そのような時は110番通報または木津署に加入電話していただきたい。

【警察】隣家から動物が脱走した件については、行政が飼育してはいけない動物かどうか調べるための立ち入りをしていない状況であったので、警察で取り扱った後に行政に通報したところ、すぐに行政が立ち入り調査を実施した。飼育してはいけない動物を飼育している場合は、行政から指導する必要がある。警察では常に通報者の立場に立ち、不安に思われていることに対して速やかに対応し、できるかぎり通報者にフィードバックするよう現場の警察官に指示している。

先ほども説明させていただいたとおりトラブルを防止するためにも、今後は「意を決して直接注意する」といった行動はできるだけやめていただき、110番通報または木津署に加入電話申告していただければ、警察でしっかり対応する。

会 議
内 容

【委員】先ほどの説明のなかで、レスポンスタイムがあったが、非常に悩ましい問題であると思った。管轄面積が広く物理的に時間がかかることは当然だと思う。今後、科学技術の進歩で、画期的に時間を縮めることができればよいと思う。

現状、工夫して少しでも時間を縮めようとしていると思うが、さらに時間を縮めるための施策はあるのか。私も行政に関わっており、119番通報も「救急ですか。火事ですか。」という入口が警察と同じである。また、現場到着に関しても救急の場合は生命に関わるため、悩みを抱え、難しい問題だと思う。

【警察】レスポンスタイムを短縮するのは難しい問題である。その一つの要因として、現場までの距離の問題があり、特に、夜間、駐在所管内で発生した事案に対応するため、勤務時間を変更するなどして、駐在所の夜間勤務員を確保するなど改善していく必要がある。警察では、今後もレスポンスタイムの短縮に努めていくが、委員の皆様方からもご意見があればぜひ頂戴したい。

【警察】レスポンスタイムは、あくまで、府内全域での平均値である。例えば、京都市内の管内面積が狭い警察署管内であれば、警察本部の車両も多数警らしており、110番通報後、数分で現場到着することができる。木津警察署の管内面積は広いが、京都府北部地域には管内面積がさらに広い警察署がある。正確には言えないが、管内面積が広い警察署であれば、レスポンスタイムは十数分にもなると思われ、レスポンスタイムを物理的に短縮することは、画期的な科学的の進歩がなければ難しいし、短縮だけを求めて警察車両が事故を起こしてはならないので、限界もある。

しかし、例えば包丁を持って暴れているといった緊迫する事案であれば、可能な限りの速度で現場急行することもあるが、そうでなければ、警察車両は緊急走行であっても、安全な速度で走行しなければならないため、レスポンスタイムの大きな短縮は望めないが、自動車の性能や道路や橋のインフラが改善され、状況は少しずつは良くなっている。

(2) その他

【委員】調書の書式について質問したい。書式を見ると間があいていたり、頭が抜けていたり、一般の人間から見れば、後から書き加えられるのではないかという不安を覚える。今はどうかわからないが手書きをしていた時に感じた。

【警察】今は警察が作成する書類は横書き・パソコンであり、ご指摘は縦書きの時代のことであると思われる。今、書類を手書きすることは、少

ない。また、面前で調書を作成することが基本であり、調書作成後に相手に読み聞かせや閲覧してもらおう等し、調書作成後は加除訂正はできない。誤字脱字がある場合、捜査報告書で訂正し、どこをどのように訂正したのかわかるようにしている。

【委員】携帯電話やスマートフォンの電源を切る時、「緊急通報」というボタンが表示される。これを押した場合、どこにつながるのか教示願いたい。

会 議
内 容

【警察】緊急通報は、それぞれの端末で事前に登録した番号になる。機種によるが、登録していなくても110番につながる場合や持ち主が登録した番号につながる場合があるのでお持ちの機種を確認していただきたい。

5 事務連絡

令和4年度警察署協議会会長会議は、11月17日（木）午後、開催予定である。

令和4年度第3回木津警察署協議会は、令和4年12月中に実施予定である。

以上

第2回京都府木津警察署協議会の開催状況

